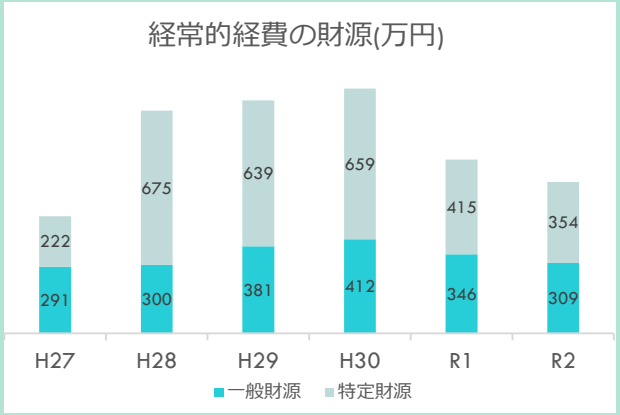
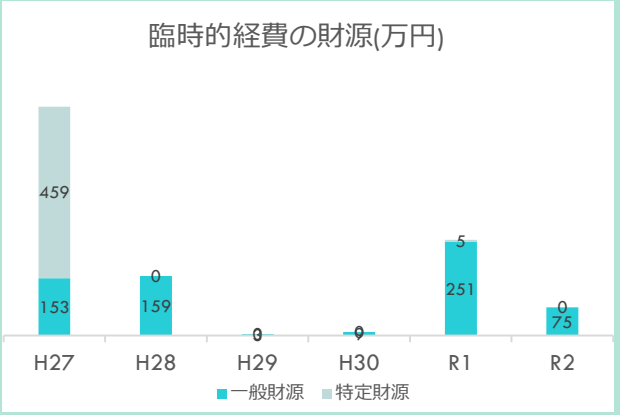
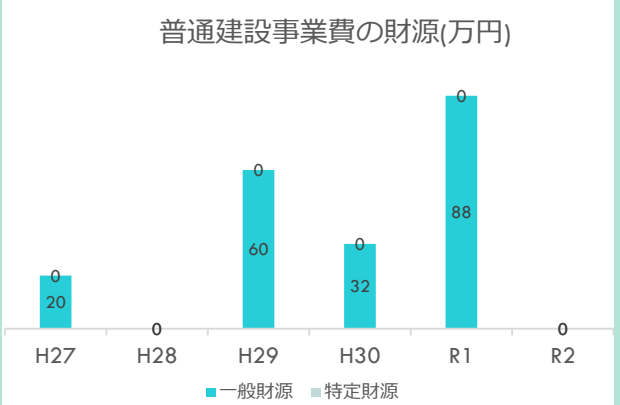
市民協働課







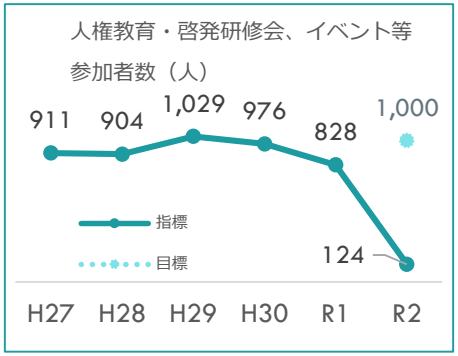
現状と課題

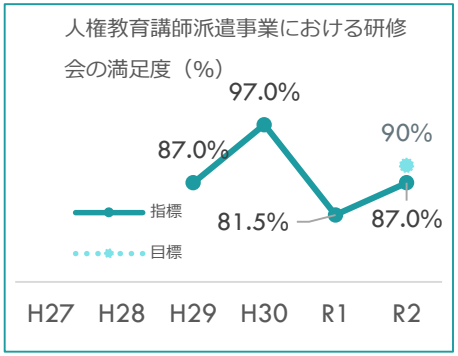
21世紀は、「人権の時代」と言われながら、依然として、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人などに対する人権侵害や同和問題など、さまざまな人権問題が存在しています。さらにインターネット上のいじめなど、新たな人権侵害も生じており、複雑・多様化しています。

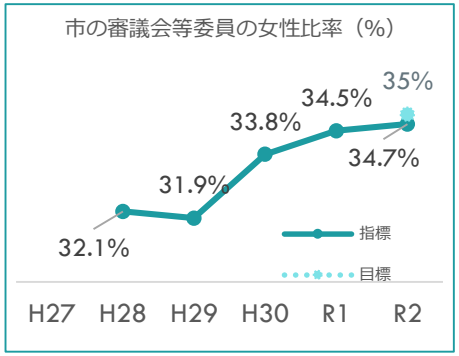
こうした問題に対応するため、本市では、あらゆる機会を捉え、年齢、経験に応じた人権教育・啓発に取り組んでいます。しかしながら、講演会や研修会など学習機会の提供に対する参加者は減少しています。より多くの市民が参加したいと思えるよう、講座の内容を工夫する必要があります。

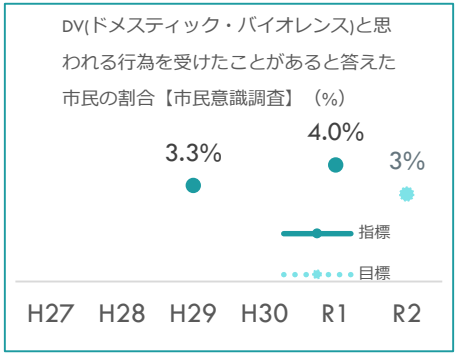
また、人権に関するさまざまな問題に直面したとき、当事者が１人で悩むことがないよう、相談・支援体制の充実が求められています。

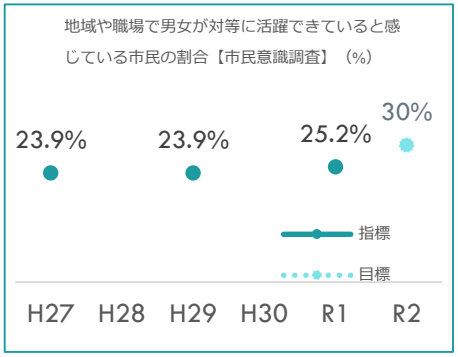
成果指標











指標の説明・・・
研修会の参加者数については、代表的なもの3件（人権教育・啓発研修会、きらめきフェスタ、いんべ会館文化祭）を合計したものとしています。
人権教育講師派遣事業における講座の満足度は、人権教育講師が企業等で行う研修会の満足度です。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行（万円）	特定財源（万円）	アウトプット（どのくらいの事業や取組を行ったか）	アウトカム（どれだけの成果が得られたか）
人権啓発研修会等の充実	人権教育・啓発研修会	人権教育・啓発研修会の開催	—	0円	—	人権教育・啓発研修会参加者70人	アンケートで「関心・理解が深まった」と回答した割合　64.9%
啓発標語募集事業	人権啓発標語募集事業	人権啓発標語の募集を行い、優秀作品を表彰	経常的経費	9万円	4万円	募集用紙配布枚数　3200枚	応募総数　2129件
地域での啓発活動の充実	人権講座開催	いんべ会館で人権講座の開催	—	0円	—	人権研修会開催数　1回	参加者　11名
相談体制等の充実	DV被害者等相談事業	相談窓口の開設	—	0円	—	ホームページや広報紙による窓口周知 紅茶カフェの開催支援　13回	相談受付回数　16回 紅茶カフェ　参加人数56名
男女共同参画意識の普及啓発	男女共同参画講座	男女共同参画講座の開催	経常的経費	34万円	26万円	男女共同参画講座開催数　3回 男女共同参画講演会（広報）1回	参加者数　178人
男女共同参画の推進	市の審議会等の委員の女性比率の向上への呼びかけ	審議会等の女性の登用状況調査	—	0円	—	目標値38%未満の審議会の状況調査	市の審議会等委員の女性比率34.7%
人権教育の推進	人権教育セミナーの実施	多数の人権問題テーマを月１回のペースでセミナーを開催し人権教育を図る。	経常的経費	67.4万円	—	セミナー実施回数・参加者延べ人数192人	最終回参加者アンケートによる満足度71.9%

施策の評価

一次評価者	役職	市民協働課長	コロナ過で、講座やイベントの開催が計画どおりに進まなかったが、コロナ差別やDV支援に関する広報活動を重点的に行った。人権問題の解決や、男女共同参画社会の実現への意識の高揚を図るため、引き続き学習機会の提供は必要となる。また、相談事業についても、関係機関と連携し、市民が安心して相談できる体制を整えていく。
	氏名	浅野　隆之	
二次評価者	役職	市民生活部長	最近では、ジェンダー平等といったことばが話題になり、人権侵害に当たるとして世間を賑わせたのは記憶に新しいところです。人権問題はいつの時代においても根絶することは困難であることは否めませんが、人は誰もが平等で対等な横の関係にあることを基本に据え、あらゆる人権問題や差別・偏見を根絶するための地道な努力を絶やすことなく事業展開していく必要があります。
	氏名	藤田　政宣	